

「公正」 誰もが、人種・性別や、性的な意識や、身体的もしくは認知的能力にかかわらず、同じように価値のある人間である

保護者の願い

- * こどもの学力を高めてほしい
- * いじめのない学校にしてほしい
- * 楽しい学校生活を送ってほしい

誠風中学校区小中学校目標

誰ひとり取り残さない学校

生徒の実態

- 素直であるが幼い
- 主体的に行動するのが苦手
- 自分の思いを伝える力が弱い

○ 安心・安全な学校 ○ 生徒が創る学校生活 ○ 生徒が主語の授業

めざす学校像

めざす生徒像

「自律」と「尊重」と「創造」の身についた生徒
「自律」自ら考え、自分で判断し、自分で決定し、自ら行動できる力 「尊重」多様性を受け入れ、対話を通して対立やジレンマを解決する力
「創造」問題を解決するために情報や技術等を活用し、新たな価値を生み出す力

誠風中生 Must Action

すべての生徒が安全・安心な
学校生活を送るためのみんな
が守る一番大切なルール

○ 自分がされて嫌なことは、しない言わない
○ 人（先生・保護者・他の生徒等）の話は聞く

数値目標

学校教育自己診断（生徒対象）の
項目「学校へ行くのが楽しい」の
肯定的回答 **95%以上** をめざす

令和7年度 重点取り組み

「問い、対話、振り返り」による授業 「動き」のある道徳科授業 生徒と教職員による学校運営 「生徒指導」から「生徒支援」への転換

令和7年度 教員のミッション（すべての先生がチャレンジする）と数値目標

カテゴリー	ミッション	数値目標
授業改善 (授業づくり)	○ 授業において、生徒の思考が深まるような「問い」になるよう工夫する ○ 授業において、 クラス全体やグループ等での「対話」の時間を設定する ○ 授業毎及び単元の「振り返り」 （→文章にして構造化する）の時間を設定する	2学期末の（校長による）教員アンケートにおいて、3項目ともに肯定的回答が 95%以上 をめざす
生徒指導 (生徒支援)	○ 生徒の話に耳を傾け（傾聴重視）、生徒と十分に対話する ○ 生徒をひとりの人として認め、させる（指導）ではなく生徒を支える（支援） ○ 生徒に「どうしたん？」→「自分はどうしたい？」 →「先生に何をしてほしい？」の3つの言葉かけで自己決定を促す	2学期末の（校長による）教員アンケートにおいて、3項目ともに肯定的回答が 95%以上 をめざす